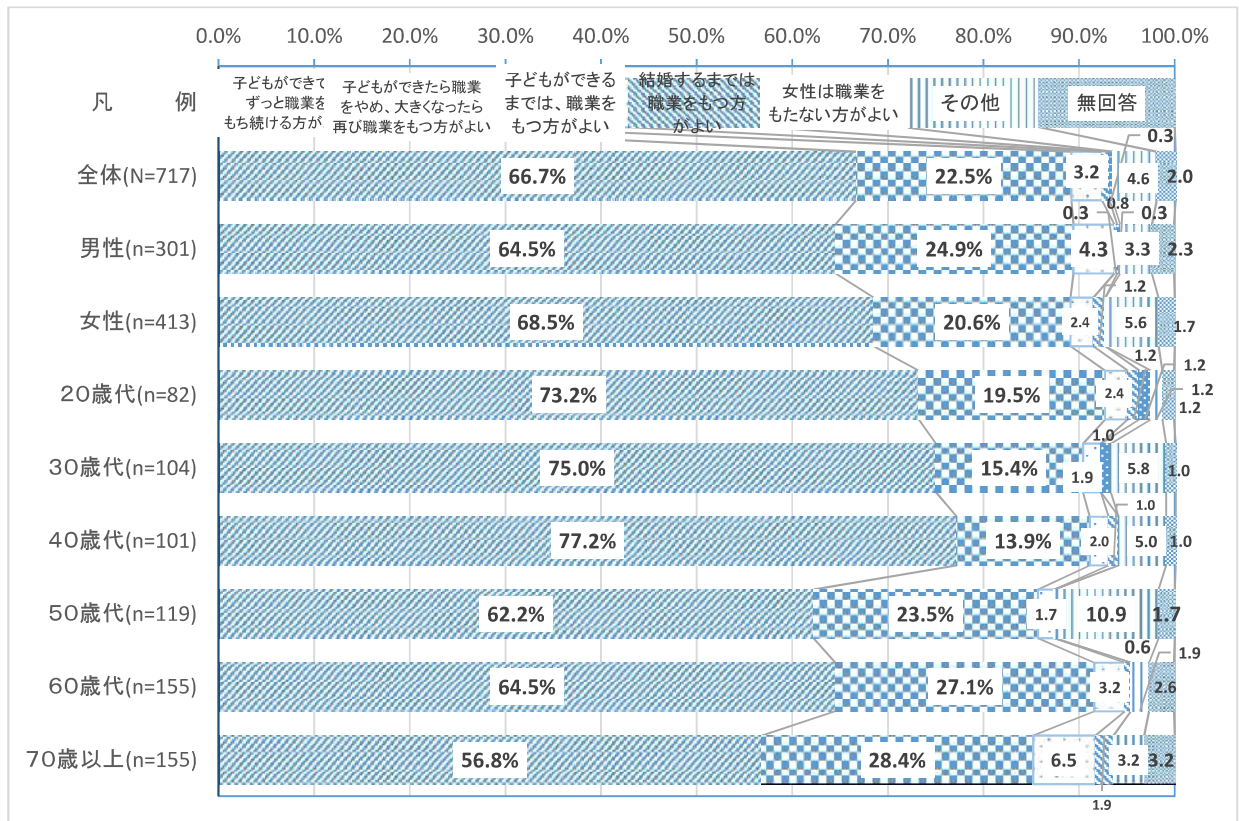


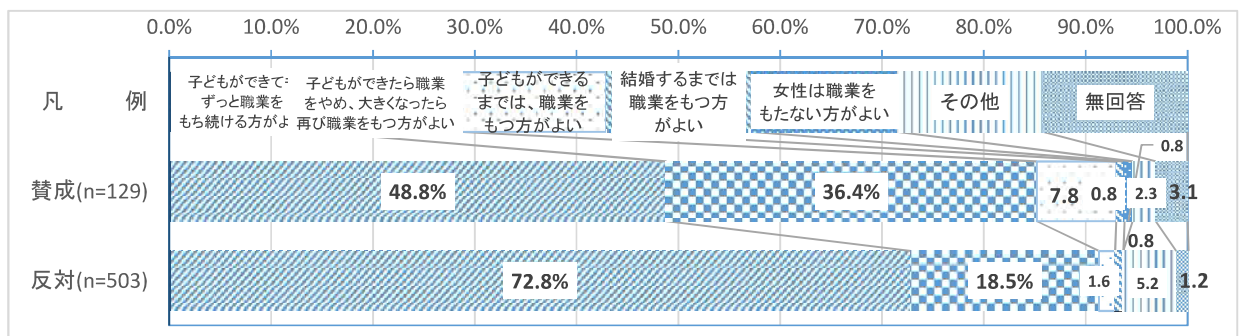
第3章 女性の職業や社会参画に関する意識と実態

(1) 女性が職業をもつことについて

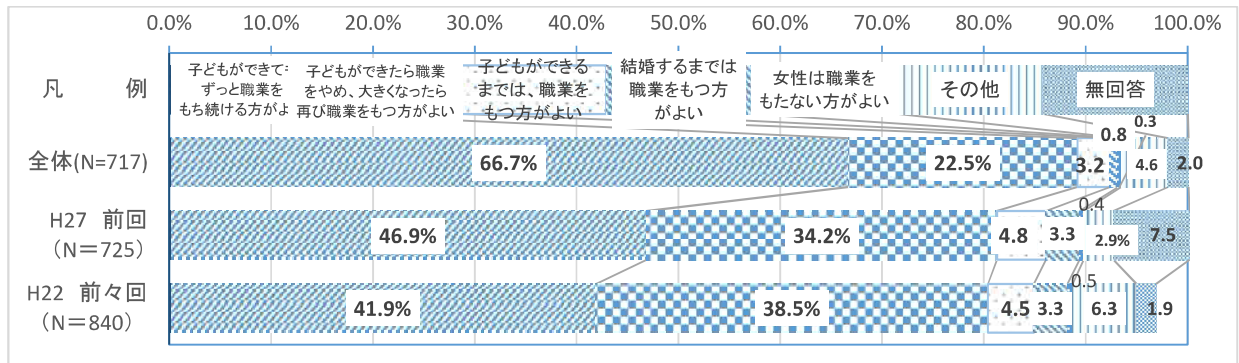
問15 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。
次の中から1つだけ選んで○で囲んでください。



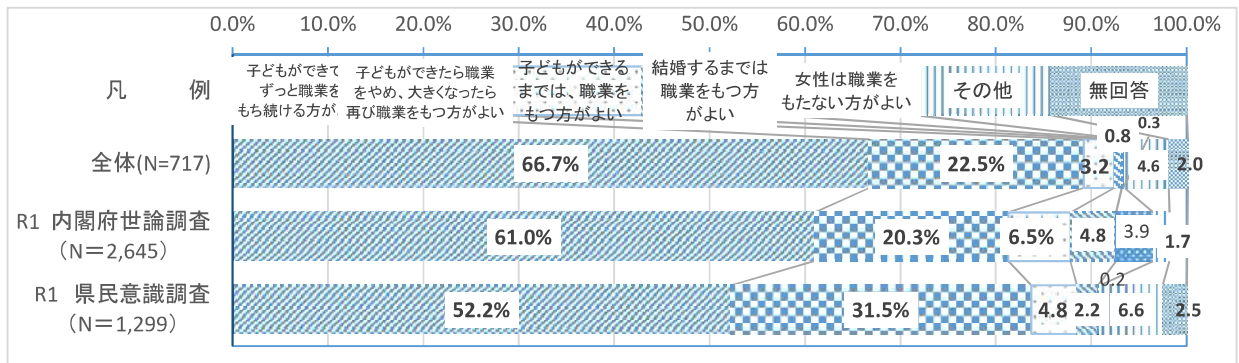
< 固定的性別役割分担意識の比較 >



<前回・前々回調査との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○『職業を持ち続ける』と回答した人の割合が**66.7%**と最も高く、『一度やめて再び就職』が**22.5%**となっており、この2つの回答が全体の約9割を占める。

※『一度やめて再び就職』＝「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」

※『職業を持ち続ける』＝「子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい」

【階層別傾向】

<性別>

○『職業を持ち続ける』と回答した人の割合が、「男性」で**64.5%**、「女性」で**68.5%**と最も高くなっている。

○男女ともに『職業を持ち続ける』と回答した割合が『一度やめて再び就職』を「男性」**39.6**ポイント、「女性」**47.9**ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において『職業を持ち続ける』と回答した人の割合が最も高くなっており、その中でも「40歳代」が**77.2%**と最も高くなっている。

<固定的性別役割分担意識別（問9）>

○『職業を持ち続ける』と回答した人の割合は『(性別による固定的な役割分担に) 反対』と回答した層で**72.8%**となっており、『賛成』と回答した層の**48.8%**を**24.0**ポイント上回っている。

【前回・前々回との比較】

○『職業を持ち続ける』と回答した人の割合は**66.7%**となっており、前回比**19.8**ポイント増、前々回比**24.8**ポイント増と増加傾向にある。

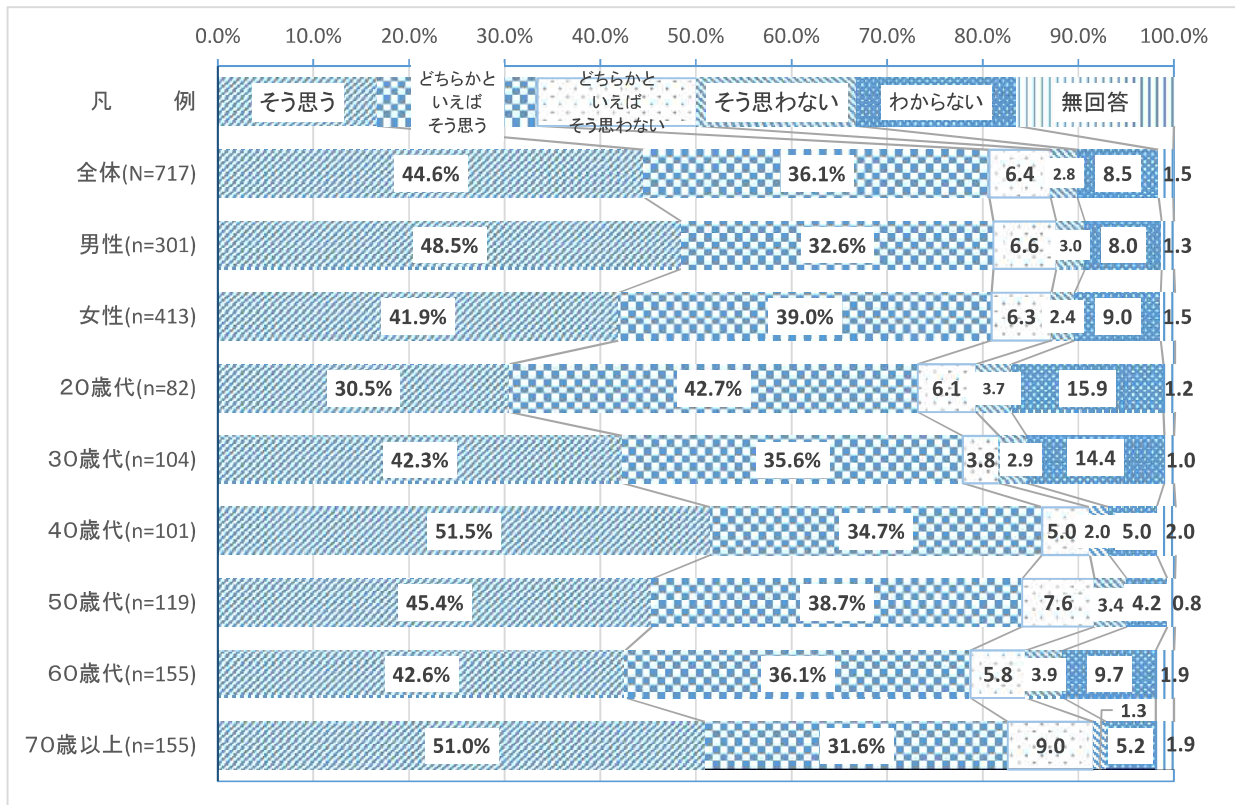
○『一度やめて再び就職』と回答した人の割合は**22.5%**となっており、前回比**11.7**ポイント減、前々回比**16.0**ポイント減となっている。

【他統計結果との比較】

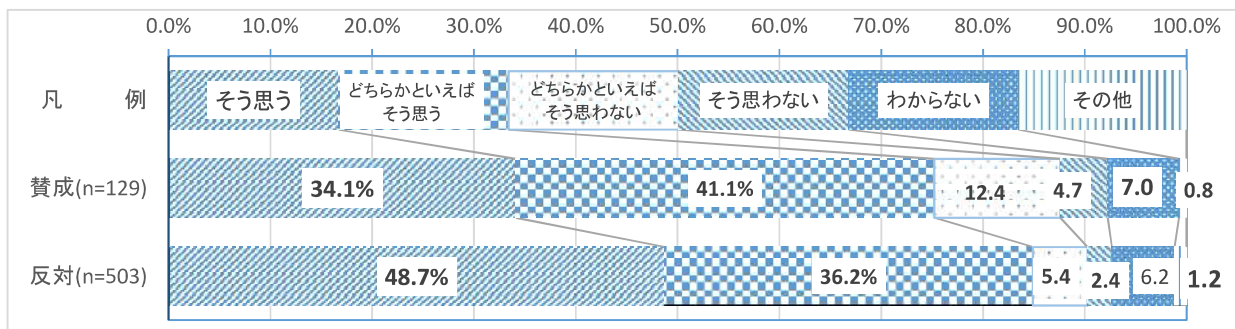
○令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、本市の『職業を持ち続ける』と回答した人の割合は、全国と比較して**5.7**ポイント高くなっている。県と比較しても**14.5**ポイント高くなっている。

(2) 女性の地位向上に対する考え方

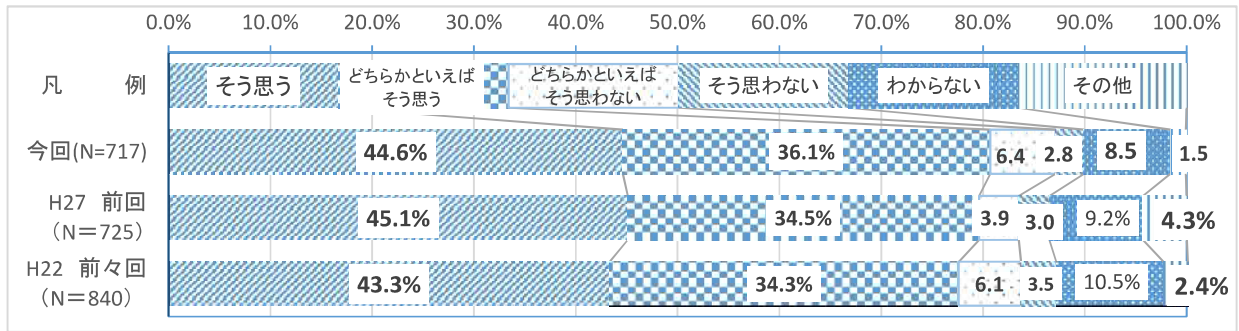
問16-① あなたは、女性の意見がもっと反映されるように自治体の首長（知事や市町村長）や議会議員、企業の管理職、農協の役員、自治会やPTA会長など、政策の企画立案や方針決定の場に女性が増える方がよいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○で囲んでください。



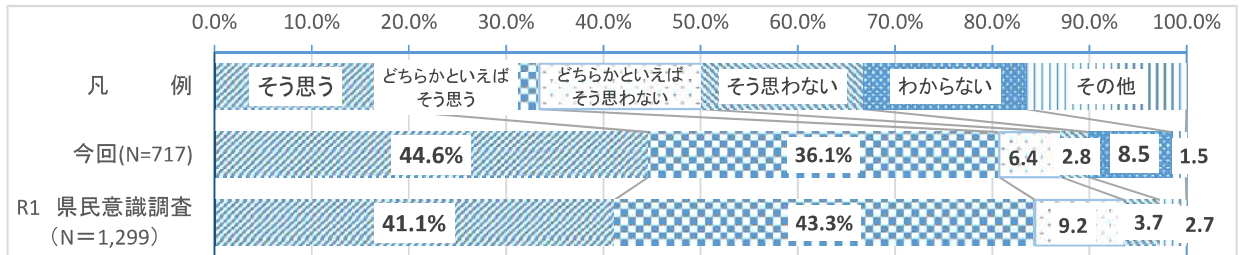
< 固定的性別役割分担認識の比較 >



<前回・前々回調査との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○『そう思う』と回答した人の割合が 80.7%、『そう思わない』と回答した人の割合は 9.2%となっている。

※『そう思う (又はそう思わない)』 = 「そう思う (又はそう思わない)」 + 「どちらかといえばそう思う (又はそう思わない)」 (以下、特に断りのない限り同様とする。)

【階層別傾向】

<性別>

○『そう思う』と回答した人の割合は、「男性」で 81.1%となっており、「女性」の 80.9%と 0.2ポイント差で、男女間にあまり差はみられない。

<年代>

○『そう思う』と回答した人の割合は「40歳代」が 86.2%と最も高くなっている。

<固定的性別役割分担意識別 (問9)>

○『そう思う』と回答した人の割合は、『(性別による固定的な役割分担に) 反対』と回答した層で 84.9%となっており、『賛成』と回答した層の 75.2%を 9.7ポイント上回っている。

【前回・前々回との比較】

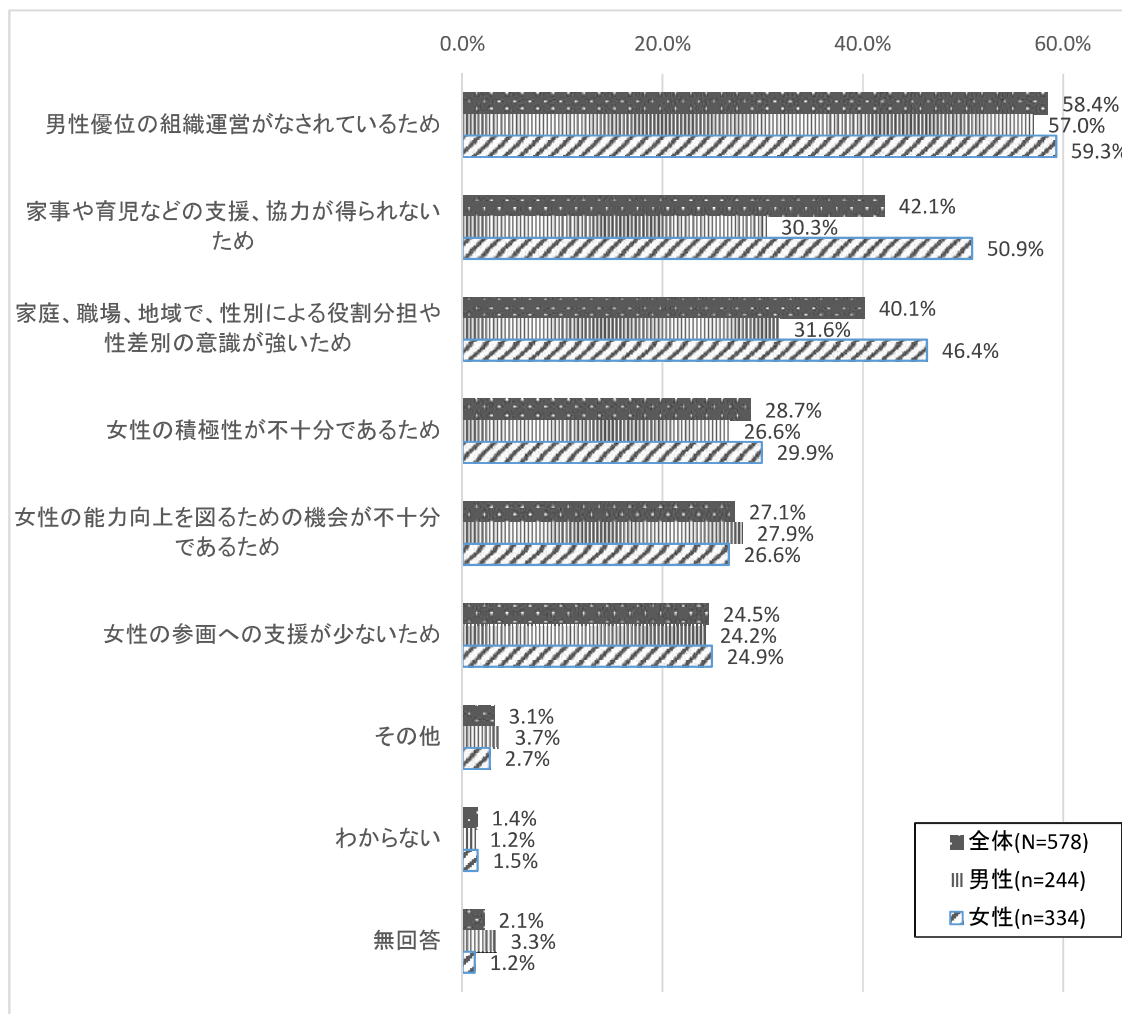
○『そう思う』と回答した人は 80.7%となっており、前回比 1.1ポイント増、前々回比 3.1ポイント増の増加傾向にある。

【他統計結果との比較】

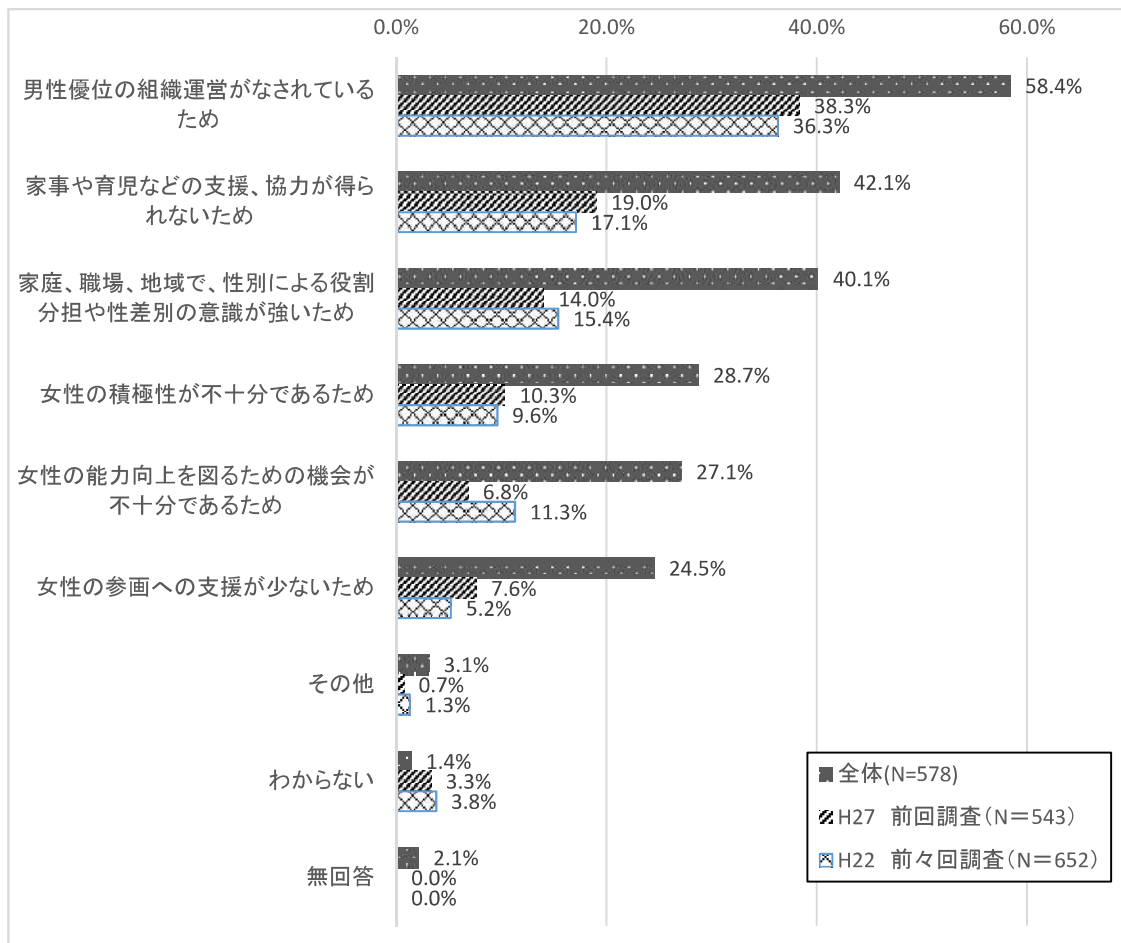
○令和元年に実施された県民意識調査と比較すると、本市の『そう思う』と回答した人の割合は、県と比較して 3.7ポイント低くなっている。

(3) 政策の企画・方針決定の場に女性の参画が少ない理由

問16-② 問16-①で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方におたずねします。該当しない方は、問17へお進みください。「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画がいまだに少ない」と言われていますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。次の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



<前回・前々回調査との比較>



【全体】

○「男性優位の組織運営がなされているため」と回答した人の割合が 58.4%と最も高く、次いで「家事や育児などの支援、協力が得られないため」が 42.1%、「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強い」が 40.1%と続いている。

【階層別傾向】

<性別>

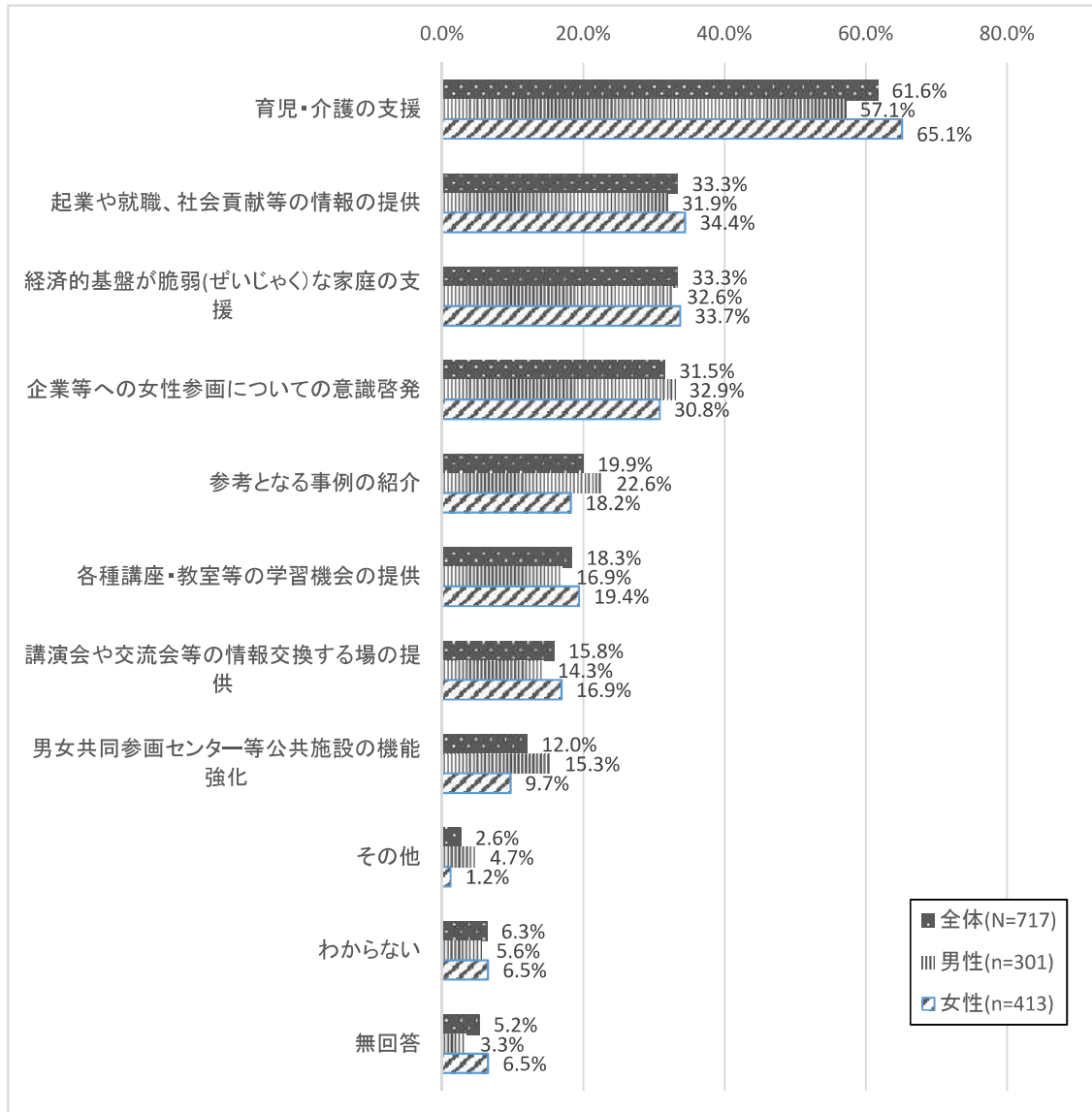
○「家事や育児などの支援、協力が得られないため」と回答した人の割合は「女性」で 50.9%となっており、「男性」の 30.3%を 20.6 ポイント上回っている。

【前回・前々回との比較】

○全体的に増加傾向にあるが、「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強い」と回答した人の割合が 40.1%となっており、前回比 26.1 ポイント増、前々回比 24.7 ポイント増と増加が著しい。

(4) 女性の社会参画を進めるために行政の取組が必要なこと

問17 女性の社会参画を進めるため、行政としてどのような取組が必要だと思いますか。次の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



【全体】

○「育児・介護の支援」と回答した人の割合が61.1%と最も高く、次いで「起業や就職、社会貢献等の情報の提供」及び「経済的基盤が脆弱な家庭の支援」が33.3%と続いている。

【階層別傾向】

<性別>

○「育児・介護の支援」と回答した人の割合は「女性」で65.1%となっており、「男性」の57.1%を8.0ポイント上回っている。